



おひさま だより

NPO法人 かでる湘南 おひさま
児童発達支援・放課後等デイサービス
2018年2月号 第18号

先日の大雪は予報通りとは言え、数時間の間に10数センチも積もったのには驚きました。交通事情でやむを得ず療育を欠席をされた方もいますが、雪が降る中を通所された方もありました。幸いにも、翌日にはほとんどの雪が溶けてしまったので、日常生活に大きな支障はなかったものと思います。

さて、「1月行く、2月逃げる、3月去る」との言葉遊びがありますように、年が改まっていろいろな行事（1月は正月、成人式、受験生は試験の準備、2月は受験シーズンで日数も他の月に比べると短い、3月は卒業式と4月からの進路の準備など）に追われて、春を迎えるまでに時間がたつのが早く感じると思います。時間に追われて慌ただしくなりがちですが、おひさまを利用するお子さんや保護者のみなさまの願いをしっかりと受け止めて、療育や支援に打ち込んでいきたいと思ひます。



私たちは、「ことば」や「文字」を介して思いや考え、気持ちを伝えることができます。ともすると、「ことば」や「文字」に頼りすぎてしまうことで、人の思いや考え、気持ちを推察（想像）することが難しくなっているのではなにか、と思うことがあります。

1年ほど前に、携帯からスマートフォンに交換しました。辞書や図鑑、パソコンなどがなくても、わからないことがあると調べること（検索）が手軽に、素早くできることを知ったことがきっかけでした。今では、財布同様、日常の持ち物の一つとなっています。ところが、便利なメールやラインのやりとりで、「ことば」や「文字」だけでは人の思いや考え、気持ちが正確に伝わらないことがわかりました。

たとえば、「この服、かわいくない。」との言い方は、語尾を上げるか下げるかによって意味が全く正反対になってしまい、誤解を受けることとなります。また、「なんで、来るの。」との言い方もそうです。徒歩で来るのか、車で来るのかどんな手段で来るのかと尋ねたつもりが、「なぜ来るんだ。」と非難されたと受け止められて、トラブルの原因になることもありま

す。このように、間違えて伝わることを避けるために、相手がどう思うか、どう受け止めるか推察（想像）することが大切となってきます。

こんな例もあります。「こんにちは」と言ったのに、あいさつが返ってこなかった。すると、「無視された」と思い込んで腹が立ったり、落ち込んだりとネガティブな気持ちを抱き、しばらく落ち着かなくなってしまう、と。しかし、「考えごとをしていたのかも・・・」「声が聞こえなかったのかも・・・」などと、理由を推察（想像）できれば、気持ちの切り替えができたことでしょう。携帯やスマートフォン、あいさつの例にしても、どれだけ推察（想像）できるかによって、その後の人間関係が変わってくるのがわかります。

人は、いろいろな面で違いがありますから（個性）、人の立場や思い、考えや気持ちを推察（想像）する力をどの子ども育み、誰もが住みよい社会になれたらなあと思っています。

廣瀬 信行



神奈川県は、25日インフルエンザ流行警報を出しました。県央地区（厚木、海老名、座間、愛川、清川）は、県内で患者数が2番目に多い地区となっています。うがいや手洗いを励行し、体調には、十分注意してください。

【保護者向け自己評価表を回収中】

1月初めにお願いしました自己評価表の締め切りが過ぎています。みなさまのご意見をふまえて、2018（平成30）年度おひさまの運営に活用します。まだの方は、ご協力をお願いいたします



2月3日は**節分**



昔からの生活行事



節分にちなんで、おひさまでも2月3日（土）から9日（金）の個別の療育の時間に節分にまつわる話をして、豆まき（落花生で）を行います。節分は「季（節）を（分）ける」という意味があり、2月3日となっていますが、違う年もあります。昔は春が訪れる立春が1年の始まりで、新しい年を無事に過ごすために、1年の始まりの前日（今の大晦日）に厄介払い（悪いことを追い払うこと）をしたのが節分です。昔は、病気や災い（嫌なこと全部）をもたらすのは鬼と考えられていて、1年を元気に過ごせるように厄介払いをしておくことが大切とされて、これが節分となっています。

また、節分に豆が使われるようになったのは、昔は米や豆などの穀物には邪気（人に悪いことをしようとする心）を払う力があると信じられていたことの原因もあるようです。ちなみに、おひさまでは、この一年、よいことがたくさんあるようにと願って「福は内」と言って豆（落花生）をまく予定です。

節分を子ども向けに説明するには？



節分にはどんな意味があるの？



節分は、「季節を分ける」という意味があるのよ。漢字で書くとわかりやすいわね。



季節を分けるって？



「立春」という日があって、その日から春になるの。その前日までは冬ということになるよね。



うん。立春から季節が分かれるんだね。



そうよ。季節が分かれる立春の前日を節分っていうんだよ。



そうなんだ！どうして節分をするようになったの？



悪いことを追い払うために節分をするのよ。



悪いことって？



病気や嫌なこと全部。



なんで立春の前日なの？



今は1年の始まりはお正月だけど、昔は春が始まる「立春」が1年の始まりだったの。立春がお正月なら立春の前日は今で言う大晦日だよ。



昔は1年の最後の日が節分だったんだね！



1年を元気で過ごせるように、新しい年になる前に悪いことを追い出しておくのが節分だったのよ。

節分の豆まきの由来は？



どうして豆まきをするの？



昔、豆には悪いことをやっつける力があるって言われてたのよ。



鬼は悪いの？



昔の人は、悪いことは鬼のせいだと思っていたの。



そうなんだ。



昔、京都の鞍馬山に鬼が出て、都を荒らしたりして困ったことがあったんだって。毘沙門天という神様が「鬼の目に豆を投げたら退治できる」ってお告げをしたそうよ。



それでどうなったの？



おつげの通りにしたら鬼を退治することができて、平和に暮らすことができたのよ。



お告げってすごいね！



病気や悪いことを追い払うのが「豆まき」だから、元気に「鬼は外」しようね。



そっか、節分は1年を元気で過ごせるようにするための行事なんだね！